

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2018-11775(P2018-11775A)

【公開日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-003

【出願番号】特願2016-143296(P2016-143296)

【国際特許分類】

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 23/02 3 8 6

A 6 1 H 23/02 3 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月6日(2018.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

底部に連なる管状の凸部を有し、前記凸部は内面側が底部に向かって厚みが増している振動部と、

前記振動部を振動させる振動素子
を備える美容器。

【請求項2】

前記振動部が前記凸部を複数有する請求項1に記載の美容器。

【請求項3】

同心円状に前記振動素子を複数有する請求項1又は請求項2に記載の美容器。

【請求項4】

複数の前記振動素子は、それぞれ振動の周波数が異なる請求項3に記載の美容器。

【請求項5】

複数の前記振動素子は、それぞれ円環形状であり、振動の方向が径方向の振動素子と、
振動の方向が厚み方向の振動素子がある請求項3又は4に記載の美容器。

【請求項6】

前記凸部の外周より外側もしくは前記凸部の内周より内側に配置された電極と、
前記電極と前記振動部へ予め定められた周波数の交流電圧を印加する高周波供給部を有する請求項1から請求項5のいずれか一項に記載の美容器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、底部に連なる管状の凸部を有し、前記凸部は内面側が底部に向かって厚みが増している振動部と、前記振動部を振動させる振動素子を備える美容器を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

また、本発明においては、同心円状に前記振動素子を複数有する構成であってもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明においては、複数の前記振動素子は、それぞれ円環形状であり、振動の方
向が径方向の振動素子と、振動の方向が厚み方向の振動素子がある構成であってもよい。